



# 希望のケルン

第135号  
2026.3.25 発行

## 令和7年度 女性部長等研修及びおらだのしゃべり場

女性部長等研修を開催し「おらだのしゃべり場」で地域課題を語り合いました。まずはボードゲームで緊張をほぐす工夫を取り入れたことで、初対面でも本音が出しやすくなり、女性ならではの活発な交流の場となりました。



講師からボードゲームの説明を受ける



### 女性部長等研修「ボードゲーム交流会」

講師に「FESTnoARE（フェストのアレ）」の皆さんを迎え、勝敗にこだわらず協力して楽しむゲームを中心に体験。この後のグループワークに向け、初対面でも会話が弾む構成で行われました。前年度の参加者からは「気に入って購入し、孫と楽しんでます」という嬉しい声も届いています。

### おらだのしゃべり場「防災について」

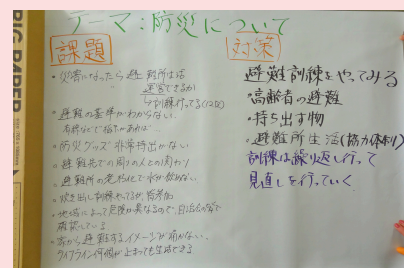
ワークショップでは、アンケートで特に関心の高かった「防災」をテーマに議論。43の自治会がある藤沢町では地域ごとに悩みも異なるため、あえて他地域の意見も聞けるよう4つの班に分かれて話し合いました。



以下は出た意見をまとめたもの。大きな災害のことだけでなく日頃の不安や疑問が積極的に出されました。5月のまちづくり会議でも取り上げていきます。

	課題や経験	対策案や今後
A班	避難行動や避難所生活、避難所運営のイメージがわからないので不安。	実際の避難行動から避難所運営までを想定した訓練を実施し、都度、見直しして改善を図っていく。
B班	河川の増水や土砂崩れ、地震等の災害があるが、近年は暑さやクマによる災害にも警戒が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に備えるため地域情報交換や高齢者への声掛けをするなど助け合いの仕組みを作る。</li> <li>涼しい時間の外出や誘因物の除去など自分で出来る工夫を行う。</li> </ul>
C班	<ul style="list-style-type: none"> <li>詐欺対策がされている電話等で必要な時、連絡が取れない心配がある。</li> <li>高齢者の避難・移動手段が不安。</li> <li>空き家が増えたことによる獣害も懸念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡の取り方を予め定めておく。</li> <li>高齢者の避難を想定した訓練の実施や、身近な話題から防災の勉強会を実施する。</li> </ul>
D班	合併後、行政による住環境の整備が行き届かなくなった（行政に相談してもよいものかわからないため、ずっと我慢していた）	環境整備だけでなく困りごとがあれば行政に相談してみる。

## what? 藤沢町住民自治協議会の おらだのしゃべり場



住民や自治会などが藤沢について、地域課題へのさまざまな疑問や意見を出すことが出来、他人の意見も聞くことが出来る機会が、おらだのしゃべり場です。

年齢や住んでいる地域も関係なく語り合い、互いの価値観を認め合い「信頼関係」を構築することで、地域への愛着を醸成します。こうした草の根の交流を基盤に、住民自らの手で持続可能な活性化を推進する「協働のまちづくり」の実現を目指しています。

詳しい内容はSNSで情報発信中です/  
**藤沢町住民自治協議会**

〒029-3405  
一関市藤沢町藤沢字仁郷12-5  
電話：63-5515 Fax：63-5517  
HP：https://dontokoi-f.com/  
メール：fujii@dontokoi-f.com

